

競技審判上の注意

1. 本大会は、令和7年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判は、全て大会本部にて行います。
なお、サービスジャッジは都道府県対抗団体戦、個人戦ともに準決勝より配置します。
※決勝・準決勝以外でも主審とレフェリーの協議によって任命することがある
3. 大会全日程においてタイムテーブルの1巡目のみ開始時間が決まっています。
入場後はコールに従って、開始時刻の15分前までに招集場所に集まってください。
なお、2巡目以降は空いたコートに入る流し込み方式で行います。時間に余裕を持って会場に到着してください。
4. 競技を円滑に進めるため、「オーダー提出」「選手招集」等の放送に十分注意してください。
5. 試合が連続する場合は、都道府県対抗団体戦・個人戦とも原則として、試合終了後15分後に次の試合を開始します。競技役員の指示に従い、選手は選手招集場所にすみやかに集合してください。
6. 団体戦におけるベンチ6席とコーチ席2席を設置します。個人戦ではコーチ席2席設置します。
コーチ席に入ることができるのは、登録した監督・コーチのみです。
7. コートへの入場は、主審の先導により組合せ番号の若番チーム（選手）から行います。退場は、主審の先導により勝利チーム（選手）から行います。
8. インターバル中のアドバイスは、同時に2人までコートに入ってもよいが、主審が「20秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
9. 試合中の水分補給、ラケットの交換、汗拭き、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。
10. 荷物はバッグの中にひとまとめにし、主審側のシートサービスライン付近に置くようとする。
11. 氷嚢は、ベンチまたはコーチ席で小型の保冷バッグ（ソフトバッグ）等に入れ、保管してください。
12. シャトルの選択は認めません。また、シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
13. 試合中のがや病気に対しては、レフェリーが判断します。
14. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、団体戦では当該選手と監督、個人戦では当該選手に限ります。
15. 試合中はコートのそばに立っていてはいけません。また、監督・コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
16. 競技フロア内への、携帯電話、電子機器、カメラの使用を禁止します。電源をOFFにしてください。
17. 試合開始前および終了後の選手同士及び主審等との握手を推奨します。試合終了後、勝者は勝

者サインを行ってください。

18. 試合中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。ゼッケンは縦25cm以内、横30cm以内とし、都道府県名及び個人名(フルネーム)を明記してください。なお、文字の大きさは大会運営規程第24条を適応します。
また、ユニフォームの広告(ロゴ)については、令和6年4月16日付の日小連文書のとおりとします。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。
19. 監督・コーチは所定の名札(I Dカード)を着用の上、服装は公認審判員規程第5条第12条第8号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
※Tシャツ(チームTシャツ及び本大会記念Tシャツは除く)、ショートパンツ(7分丈含む)での着席は認められない。

[都道府県対抗団体戦に関する事項]

1. オーダー用紙は4回戦分までは、受付時に配布します。準決勝・決勝出場チームは、次回戦オーダー用紙を主審から受け取ってください。
2. オーダー用紙は、本部受付に提出してください。競技審判副部長立会いのもとでオーダー確認を行いますので、指定の時刻厳守をお願いします。
3. 1巡目オーダー提出時刻は、【7：50】です。
4. 2巡目以降のオーダー提出時刻は放送で案内します。
5. 定刻(指定のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときは、「棄権」と見なします。
6. オーダー提出後の選手変更は、認めません。
7. コート入場後の試合開始前のウォームアップは、主審の指示により各試合2分間の練習を認めます。なお、ウォームアップは主審の指示で始めて下さい。シングルスは対戦相手、ダブルスはパートナーと行ってください。
8. 練習用シャトルは、各自で準備お願いします。
9. 1・2回戦は3試合全て行い、3回戦以降は勝敗が決定次第、打ち切りとします。
10. 競技の進行により、コートを並行して行うことがあります。この場合も試合の順序に関係なく、勝敗決定後、打ち切りとします。
11. 試合進行により3面展開で行う場合があります。その場合も、コーチ等の入場は、入場規定の中で対応をお願いします。

[個人戦に関する事項]

1. コート入場後の試合開始前のウォームアップは、主審の指示により各試合2分間の練習を認めます。なお、ウォームアップは主審の指示で始めて下さい。シングルスは対戦相手、ダブルスはパートナーと行ってください。
2. 練習用シャトルは、各自で準備お願いします。
3. その他については、団体戦の進め方に準じます。